

第2回 岩井賞の選考について

岩井賞選考委員会

本選考委員会は、岩井賞にふさわしい業績について慎重に審査した結果、第2回岩井賞を大東 亮氏に授与することを決定した。

授賞理由はつぎのとおりである。

大東 亮氏は、『日本とモンゴル』第51巻第2号(134号)に

【翻訳】B. ツェンドドー「日本-モンゴル(自分の顔を見る)辞典」

を発表し、日本人のモンゴル理解、モンゴル人の日本理解に資するだけでなく、日本人の日本理解、モンゴル人のモンゴル理解を優れて促進する解説を訳出した。「訳者は2016年秋に来日したツェンドドー氏と数日間を共に過ごし、その独特な視点とウィットに富んだ語り口に強い印象を受けた。本人が『自分の書く文章は特徴的表現があるので翻訳しにくい』というとおり、一読してわかりやすい文章とは言えない」と大東氏自身が指摘するツェンドドー氏の比喩に富んだ文章を巧みに翻訳できたのは同氏の力量あればこそこの話である。

大東氏の翻訳・通訳については、モンゴル国政府関係の仕事をしたことのある人物ならほぼたいいていの方がご存知のとおりである。いわゆる知らないものがないほど、その通訳・翻訳は卓越したものである。加えて、当協会の機関誌「日本とモンゴル」には、優れたエッセイをこれまで幾度となくご発表頂いてきた。

これまでの当協会の交流活動へのご支援と今回の優れた翻訳は、岩井賞にふさわしい成果と貢献であると思料する。

岩井賞募集

日本モンゴル協会 総合研究所

本研究所では、「岩井賞」の対象とする、モンゴルに関する活動、報告などの募集を開始いたします。テーマは、純学術的なものに限定されず、モンゴルに関する活動、あるいは日本・モンゴル関係にかかわる国際交流など、様々なものも含まれます。

応募は、自薦、他薦を問いません。活動や交流などの内容を詳しく紹介した文章を、図版、写真などを含めて、A4版10枚程度でお願いします。電子媒体（CD-ROM）とプリントしたものをお送りください。

締め切りは、2018年1月31日です。

応募された活動や交流などを審査し、最優秀のものに「岩井賞」を贈ります。

「岩井賞」の賞金は5万円です。

応募は、日本モンゴル協会の会員に限りますので、非会員の方は、投稿の際に入会の手続きをお取りください。なお、投稿原稿などは返却しませんので、ご承知おきください。

論文提出先：

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 柳澤明研究室
公益社団法人 日本モンゴル協会 Tel：03-5286-3697